

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成28年12月8日 (2016.12.8)

【公開番号】特開2014-208601(P2014-208601A)

【公開日】平成26年11月6日 (2014.11.6)

【年通号数】公開・登録公報2014-061

【出願番号】特願2013-221231(P2013-221231)

【国際特許分類】

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 P 27/02 (2006.01)

A 6 1 K 31/352 (2006.01)

A 6 1 K 31/216 (2006.01)

G 0 1 N 33/50 (2006.01)

G 0 1 N 33/15 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 45/00

A 6 1 P 27/02

A 6 1 K 31/352

A 6 1 K 31/216

G 0 1 N 33/50 Z

G 0 1 N 33/15 Z

【手続補正書】

【提出日】平成28年10月21日 (2016.10.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

被検者に由来する生体試料から、肥満細胞の脱顆粒により放出され得るマーカー物質を検出することを含む、

前記マーカー物質の検出量に基づいて、被験者が未熟児網膜症であるか否かを判定することのために、あるいは、未熟児網膜症の治療又は予防が必要か否かを判定することのためにデータを提供する方法。

【請求項 2】

請求項 1 記載の方法により未熟児網膜症の治療又は予防が必要であると判断された患者に投与するための、肥満細胞に由来するトリプターゼインヒビター及び肥満細胞スタビライザーからなる群より選択された少なくとも 1 種の化合物を有効成分とする未熟児網膜症の治療又は予防剤。

【請求項 3】

肥満細胞を、肥満細胞の脱顆粒により放出され得るマーカー物質の放出誘導処理に供すること、

前記マーカー物質放出誘導処理に供された肥満細胞に、候補物質を接触させること、

接触後の肥満細胞から放出された前記マーカー物質の検出を行うこと、並びに、

前記マーカー物質の検出量に基づいて、前記候補物質が前記マーカー物質の放出阻害活性を有するか否かを判定し、前記マーカー物質の放出阻害活性を有すると判定された候補物質を、未熟児網膜症の治療又は予防効果を発揮しうる目的物質としてスクリーニングす

ること、  
を含む、請求項 2 記載の治療又は予防剤のスクリーニング方法。